

温暖な気候にゆったりと身を委ねる

海の恵み、里山の魅力、歴史ある町並み



黄色い丘



鯛など豊かな海の幸を満喫



絆の聖地【結のブランコ えひめ森林公園】

奥会津に佇む赤べこ伝説発祥の町

歴史、温泉、そして自然の恵み



1200年の歴史を感じる圓藏寺



圓藏寺の紅葉



柳津発祥【赤べこ伝説】



【access】
飛行機&自動車→羽田～松山～伊予 約2時間5分

港区から全国の魅力を発信！ / NO.16 港区全国連携情報誌

港から

mi na to ka ra

反対面からは福島県柳津町を紹介！

みんなで伊予の魅力を発信中
ミカンまる [あじの五勇士リーダー]

【data】
伊予市 iyo city
面積：194.43km² 人口：35,288人
(令和6年8月末日現在)

観光情報サイト「ソレイヨ」

伊予市は四国の北西部に位置する愛媛県の真ん中。中予地方でももっとも西に位置し、松山市からのアクセスも良好です。古くは海上交易の中継地として栄え、その面影は今でも残る豪商の邸宅などに見ることができます。

産業は瀬戸内ならではの豊かな漁場と、温暖な気候が生み出す、漁業と果物をはじめとした農業が中心です。また、削り節などの加工食品は全国シェアの6割を占めていて、全国的に名を知られるヤマ

キ・マルトモが本社を置いています。

また雄大な伊予灘など、自然の豊かさでも伊予市の魅力のひとつ。海辺と山が接近しているのも特徴で、海岸沿いは海水浴も楽しめる五色浜や夕やけこやけラインなど、穏やかな瀬戸内海を望める一方、山間部はえひめ森林公園があるなど、場所によってさまざまな表情を見せてくれます。もちろん、海の幸、果物などを楽しむことができるので、グルメ旅の目的地としてもオススメです。

港区民限定 PRESENT

「道の駅ふたみ」の夕焼けミニソフトクリーム(みかん味)先着23名様に!

道の駅ふたみ1F(海山産直あさひさん)のレジで申し出てください。
営業時間:8:30～18:00
定休日:第3火曜日

※運転免許証等、港区民と分かる書類等の提示が必要です。期間は令和7年3月末日まで



【access】
JR東北新幹線&磐越西線&只見線→東京～郡山～会津若松～柳津 約3時間10分
自動車→東北自動車道～磐越自動車道 約3時間10分

港区から全国の魅力を発信！ / NO.16 港区全国連携情報誌

港から

mi na to ka ra

反対面からは愛媛県伊予市を紹介!

四季折々の風景は絶景ですよ!
うとちゃん

【data】
柳津町 yanaizu town
面積：175.82km² 人口：2,914人
(令和6年3月1日現在)

柳津町観光協会

柳津町は福島県の中西部、会津地方に位置し、会津若松市から25kmほど離れた奥会津と呼ばれる地域になります。産業は農業が中心で山々から採れる自然の恵みも楽しむことができます。

柳津の由来はその昔、只見川の川岸に大きな柳があり、そこが船の発着場になっていたからとされています。

昭和30年(1955)の合併で現在の町域が作られたことから、柳津地区と西山地区に大きく分かれ、それぞれ違った豊か

な自然を楽しめるのが魅力です。柳津地区は只見川を中心に広がり、1200年もの歴史を誇る圓藏寺の門前町として発展してきました。一方の西山地区は山中にあって温泉が自慢のひとつ。湯治客で今もにぎわっています。

夏は萌え出る緑。秋には奥会津らしく、紅葉で町全体が鮮やかに染まり、冬は雪の風情を楽しむことができます。

圓藏寺に由来する赤べこ伝説発祥の地としても有名です。

港区民限定 PRESENT

「やないづ張り子工房Hitarito」の赤べこ張り子(朱・Sサイズ)先着10名様に!

会津柳津駅内にある観光案内窓口(8:30～17:00)に申し出てください。※やないづ張り子工房Hitaritoも駅構内にありますが、水・木曜日定休日となります

※運転免許証等、港区民と分かる書類等の提示が必要です。期間は令和7年3月末日まで

福島県 柳津町

奥会津の歴史と伝統を感じる町
豊富な源泉を楽しめる温泉にも注目

こぼやし いまお
小林 功 町長

幻想的な
川霧が風物詩
四季で変わる風景
は絶品です！

柳津町は圓藏寺など長い歴史と伝統があり、自然と豊かな温泉など、都会にはない魅力にあふれています。全国に先駆けて運転開始された地熱発電も自慢です。子どもたちの交流を行っています。さらに幅広く、港区の方々に来ていただいて、いろいろなものを見たり、感じたり、食べたりして、柳津町を感じていただければと思います、ぜひお待ちしております。



只見川に立ち込める川霧

奥会津らしさを存分に楽しむ



魅力1 やないづ縄文館

5000年前に出会う

(柳津字下平乙151)
☎0241-42-3511 (中央公民館)



遺跡発掘によって柳津は縄文時代から栄えていたことがわかっています。新潟との交流が見て取れる火炎系土器は地域独自のものです。考古学ファンにはたまりません。またバックヤードの見学も好評です。



魅力2 JR只見線会津柳津駅

カフェ&赤べこ工房

(柳津字下平甲610-7)
☎0241-42-7333



鉄道ファンに人気の只見線。柳津駅はリノベーションされて、憩いの場としても親しまれています。カフェやグッズコーナー、オリジナルの赤べこを購入できるだけでなく、絵付け体験もできます。



魅力3 町立斎藤清美術館

柳津を描いた版画たち

(柳津字下平乙187) ☎0241-42-3630



世界でも高い人気を誇る版画家、斎藤清氏は柳津にゆかりがあったことから町内の風景を多く描き、『会津の冬』シリーズは見る者の心を強く惹きつけます。こちらでは約1000点の作品を収蔵しています。



愛媛県 伊予市

合併して誕生した伊予市は
温暖な気候と豊かな食材が自慢

たけちくじのり
武智邦典 市長

高級食材の
ハモも特産
美味しいものが
いっぱい！

伊予市は愛媛県のほぼ中央に位置しています。3つの魅力あふれる地域が合併し、平成17年(2005)に誕生しました。温暖な気候が自慢で、全国的にも有名な花かつお、鯛や柑橘類など、新鮮で魅力的な食材がたくさんあります。豊かな自然を満喫しながら新鮮な食材をご賞味ください。松山空港からのアクセスもいいため、ぜひいらっしゃってください。



日南登のシダレザクラ

瀬戸内の穏やかな気候と海からの恵み



魅力1 道の駅ふたみ

恋人の聖地&グルメスポット

(双海町高岸甲2326)
☎089-986-0522



伊予市を訪れたらまず立ち寄りたいのがこちら。目の前に広がる伊予灘は絶景。恋人の聖地にも認定されています。レストランでは地のものが堪能できたり、オリジナルのソフトクリームも人気です。



魅力2 JR下灘駅

ホームのすぐ前が海！

(双海町大久保)
☎089-994-5852 (伊予市観光協会)



「しずむ夕日が立ちどまる町・双海町」にあって、ホームと海のコントラストで「映える駅」として有名な駅です。駅舎の前にはカフェもあって、海を眺めながらのんびりとお茶をすると時間を忘れるほど。



魅力3 砥部焼

世界も認めた
若手の活躍

お隣の砥部町を中心に作られている白磁器が砥部焼です。伊予市内にもいくつかの窯元があって、直接購入したり、陶芸を体験することもできます。最近では若手作家が意欲的にオリジナル作品を生み出し、世界に発信しています。



【グルメ情報】

柳津らしさを舌で味わう

会津地方ではカツ丼と言えばソースカツ丼。焼いた卵の上にソースカツを乗せたのが柳津スタイルで、最近では会津若松などでも人気となっているほどです。また圓藏寺の門前町ではあわまんじゅうがオススメ。柳津町自慢のそば粉100%の手打ちそばも人気です。



卵とソースの組み合わせはとても新鮮。カツ自体も肉厚で、食べ応え十分です



ふんわりした食感が魅力。蒸かしたそばに美味！

【トリビア情報】

圓藏寺にまつわる赤べこ伝説とは？

町を見守るのが高台に立つ圓藏寺。創建は1200年前とされ、見る場所によってさまざまな表情を見せてくれます。また本堂からの眺めも絶景です。400年前の大地震の際、本堂の再建を手伝ったのが赤毛の牛たち。それ以来、地元では「赤べこ」として親しまれています。

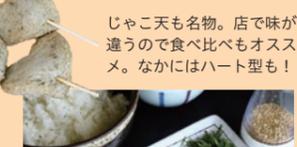


町内の至るところに赤べこが出迎える。実は家族なんです。どこにいるのか、ぜひ探してみてください！

【グルメ情報】

料理法あれこれ海の幸を堪能！

なんとも瀬戸内海の恵みである、海の幸が伊予市の自慢。なかでも鯛は地元でも愛される食材で、鯛めしや鯛そうめんなど、さまざまなメニューが楽しめます。また温暖な気候と斜面を利用して作られる柑橘類も数多くの種類が作られています。



じゃこ天も名物。店で味が違うので食べ比べもオススメ。なかにはハート型も！

鯛めしは、刺身をのせてだし醤油をかけて食べる。ごはんといっしょに炊いて食べる。の両方が楽しめます

【トリビア情報】

歴史と伝統そして最新技術

市内には江戸時代の建物も保存され、寺社仏閣も多くあります。また、戦前に建てられた市立翠小学校の校舎は県内最古の現役木造校舎です。学校前には平安時代の伝説が残る「曳き坂」があります。



現在の使われている翠小学校の校舎

翠小学校へは自動運転バスで行けます

information

「全国連携マルシェ in 芝浦」のご紹介！【開催場所】区立プラタナス公園（芝浦4-20-56）



区では、全国連携の取組の一環として、「全国各地域との連携の力」を活用したマルシェを平成30年度から開催しています。イベントでは旬の野菜や果物など、全国各地自慢の特産品に加え、ワインや雑貨など様々な商品を販売するテントブース。そしてローストチキンやピザなどを販売するキッチンカーが出店します。詳しいイベント開催情報は、港区ホームページの「全国連携の港区」の実現に向けて> ページの「直近のイベント情報」からご確認ください。



全国の自治体による特産物の販売

港区全国連携情報誌 港から NO.16

港区と連携・交流のある全国各地域の様々な「魅力」や区の『全国連携』に関する取組を発信！

発行：港区
編集・企画：企画経営部全国連携推進担当
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
TEL 03-3578-2111 (代)
https://www.city.minato.tokyo.jp/
発行番号 2024114-5811



バックナンバーやイベント情報もこちらから！

「全国連携の港区」の実現に向けて

区は、互いの地域の発展と住民のより豊かな生活の実現に向け、子どもの交流や環境、防災、商店街振興などさまざまな分野において、自治体間だけでなく、住民間や産業間など、幅広く全国各地域との連携を推進しています。

全国300以上の自治体と連携

- ・全国連携マルシェ in 芝浦
- ・区内公衆浴場での温泉体験イベント
- ・ワーケーションの促進事業など